

平成21年度（第3回）

浄土宗宗祖法然上人800年大遠忌記念事業

ともいき  
「共生・地域文化大賞」募集要項

「いのち」の「ともいき」を実感できる社会の実現をめざして

平成21年6月

主 催 浄土宗  
後 援 財団法人全日本仏教会  
特別協力 総本山知恩院  
運 営 特定非営利活動法人きょうとNPOセンター  
事務局 ともいき  
共生・地域文化大賞運営事務局

法然共生

宗祖法然上人800年大遠忌

## 共生・地域文化大賞の概要

21世紀、世界最大のテーマは「共生」です。様々な紛争や環境問題など人類全体の課題の解決も、それぞれの地域の小さな「共生」を実現することから始まります。

浄土宗では、「浄土宗21世紀<sup>へきとう</sup>劈頭宣言」に基づき、平成23年に迎える「法然上人800年大遠忌」の記念事業として、このような取り組みが全国各地で進められるよう支援するため、平成19年に「共生・地域文化大賞」を創設しました。

NPOやボランティア団体の方々が取り組まれている、それぞれの地域での豊かな実践が今後も積極的・継続的になされていくための支援を行う一方、本賞を通じて、浄土宗寺院が積極的に地域文化活動に学び、参加し、または協働モデルを模索することで、「共生社会」の創出に向けて新たな活動を展開したいと考えています。

今年度で第3回の募集となりますが、今回から、より多くのご参加をいただけるよう、賞区分として「表彰部門」「助成部門」「アイデア・企画部門」の3部門を設けています。

## 対象となる活動

本事業の対象となる地域文化活動とは、共生社会を実現する集団的活動を指し、地域独自の主体的な文化への継続的な取り組みをいいます。市民が担い手となって、「共生」の地域づくりをめざすすべての活動を対象とします。医療、福祉、社会教育、芸術文化、青少年育成、まちづくり、環境保全、スポーツ振興などジャンルは問いません。

## 各部門の内容

表彰部門	P. 2
助成部門	P. 5
アイデア・企画部門（一般の部・中学生以下の部）	P. 8
応募・お問い合わせ先	P. 9
運営委員・選考委員	P. 10

## 【表彰部門】

地域の活動団体による地域文化活動について、その実績・成果に応じて表彰を行います。仏教寺院\*との関係や協働の有無は問いません。

また、自薦・他薦は問いません。ただし、他薦の場合、推薦団体として対象となるのは、全国の仏教寺院\*、NPO支援センター（NPOの中間的支援を主たる活動の目的とする団体）および社会福祉協議会になります。

<small>ともいき</small> 共生・地域文化大賞	…… 1 団体	賞状・活動奨励金	1 5 0 万円
<small>ともいき</small> 共生優秀賞	…… 3 団体	賞状・活動奨励金	5 0 万円
<small>ともいき</small> 共生奨励賞	…… 5 団体	活動奨励金	1 0 万円

※ 以上 9 団体には「浄土宗共生・地域文化活動拠点」の標章を授与します。

\* 仏教寺院とは、全日本仏教会加盟宗派〈教団〉に所属している寺院、または全日本仏教会加盟の都道府県仏教会〈連盟・連合会〉に加入している寺院とします。

## （応募対象団体）

地域文化活動に取り組む市民活動団体（NPO）やボランティア団体などを対象とします。法人格の有無は問いませんが、ボランティア団体などは、会則や決算報告書を持ち、組織として意思決定ができる団体を対象とします。

原則として、寺院が単独で活動している事業は対象外です。ただし、僧侶や仏教寺院が市民活動団体（NPO）やボランティア団体などとの協働で地域文化活動に取り組んでいる場合は選考対象となります。

※ 以下の団体は対象外となります。

- イ 公益法人または社会福祉法人・学校法人など特別法によって定められた公益団体
- ロ 日本国内以外で事業展開をする団体
- ハ 個人活動、サークル活動など
- ニ 本事業において、過去に「共生・地域文化大賞」を受賞した団体
- ホ 営利を目的とする団体
- ヘ 政治活動を主たる目的とする団体

### (採択基準)

採択にあたっての選考基準は以下の通りです。

先駆性	次代を見据えた事業が展開されているか
必要性	共生社会の実現のために明確な対象を有しているか
緊急性	共生社会の実現のために必要な事柄に優先順位がつけられているか
波及性	活動の成果がより広範な地域や主体に還元されていくか
独創性	目標達成の手法や手段に独自性があるか
地域性	地域の社会的・文化的・経済的背景を踏まえた活動が展開されているか
計画性	共生社会を実現するため計画的な事業展開がなされているか
収益性	多様な活動資源の確保のために自主財源の充実を図ろうとしているか
継続性	採択後も継続的に事業を実施していく体制があるか
公開性	情報公開に積極的に努め多くの人々を巻き込むための広報などに取り組んでいるか
協働性	社会課題解決を図るその活動が寺院とNPOの協働という視点において明確かつ秀逸であるか、または活動内容が、採択後に仏教寺院との協働によってより活発になり、広がる可能性に期待ができるか

### (活動奨励金について)

- (1) 活動奨励金は平成22年3月31日までに、次の経費に使用できます。  
給料・手当、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗什器備品、消耗品費、修繕費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、賃借料、保険料、委託費、諸謝金、固定資産取得支出（不動産を除く）、雑費など
- (2) 活動奨励金は、採択後、所定の手続きを経てお支払いします。また、平成22年6月末日までに、活動報告書及び活動奨励金の使用報告書を提出していただきます。
- (3) 活動奨励金は、虚偽の申請・報告、または実施後の報告がないなどの場合には返還を求めることがあります。

### (募集期間)

平成21年6月15日（月）～8月7日（金）

### (応募方法)

- (1) 所定の応募申込書に必要事項を記入の上、運営事務局あてに特定記録郵便で郵送してください。FAX、E-mail 及び持参による提出はできません。
- (2) 応募申込書に、以下の書類を添付してください。他薦の場合は以下に類する資料を入手可能な範囲で添付してください。
  - ① 定款、規約、会則など団体の組織運営が分かるもの

- ② 役員名簿またはそれに準ずるもの
  - ③ 直近の事業報告書と決算書類（設立初年度の団体は事業計画書と予算書）
  - ④ 活動内容が具体的に分かる資料（チラシ、リーフレット、写真、新聞記事、アンケート結果等）
  - ⑤ 主な表彰受賞歴と助成実績（A4 サイズ 1 枚にまとめたもの。ない場合省略可）
- (3) 応募申込書は、ホームページからダウンロードいただくか、運営事務局までご請求ください。
- ※ 提出していただいた応募書類は返却いたしません。
  - ※ 応募に関する質問は、随時受け付けます。受け付けた質問と回答は原則ホームページで公開します。

**(選考スケジュール)**

6月15日(月)	募集開始～応募説明会随時開催
8月7日(金)	応募申込締切 最終日午後5時までに運営事務局必着
8月中旬	予備選考会 受理した応募書類について、応募要件や書類の不備などを確認
8月末～9月下旬	一次選考会 必要に応じて聞取調査、追加書類提出依頼
10月 (同日開催)	二次選考会（公開プレゼンテーション） 対象団体には1名分の交通費を支給 採択式典 採択記念パーティ(レセプション)

## 【助成部門(新設)】

地域の活動団体と仏教寺院\*の協働による地域文化活動\*\*について申請を受け付け、事業費の助成を行います。助成団体の採択については、運営委員会が設置する助成審査会が申請内容を審査、候補を選出し、選考会の承認を経て決定します。

<sup>ともいき</sup>  
共生事業助成金…… 1件につき5～50万円 総額150万円

\* 仏教寺院とは、全日本仏教会加盟宗派〈教団〉に所属している寺院、または全日本仏教会加盟の都道府県仏教会〈連盟・連合会〉に加入している寺院とします。

\*\* 「地域の活動団体と仏教寺院の協働による活動」の例

- イ 僧侶が周辺地域の団体とともに何らかの事業に取り組んでいる活動
- ロ 周辺地域の団体に仏教寺院を活動場所として提供するとともに、企画運営にも参加している活動
- ハ 寺院同士の連携を通して、仏教寺院による地域文化活動の活性化に取り組んでいる活動
- ニ 仏教寺院が地域住民の参画の下、宗派を超えたネットワークにより行う活動
- ホ その他、地域文化活動の質的、量的な充実のために僧侶や仏教寺院が参加している活動

### (応募対象団体)

地域文化活動に取り組む市民活動団体(NPO)やボランティア団体などを対象とします。法人格の有無は問いませんが、ボランティア団体などは、会則や決算報告書を持ち、組織として意思決定ができる団体を対象とします。

原則として、寺院が単独で活動している事業は対象外です。ただし、僧侶や仏教寺院が市民活動団体(NPO)やボランティア団体などとの協働で地域文化活動に取り組んでいる活動の場合は、協働している仏教寺院からの申請も可です。

※ 以下の団体は対象外となります。

- イ 公益法人または社会福祉法人・学校法人など特別法によって定められた公益団体
- ロ 日本国内以外で事業展開をする団体
- ハ 個人活動、サークル活動など
- ニ 営利を目的とする団体
- ホ 政治活動を主たる目的とする団体

### (採択基準)

実現可能性	協働のパートナーが明確であり、実現可能性があるか
独創性	目標達成の手法や手段に独自性があるか
地域性	地域の社会的・文化的・経済的背景を踏まえた活動が展開されているか
継続性	採択後も継続的に事業を実施していく体制があるか
協働性	社会課題解決を図るその活動が寺院とNPOの協働という視点において明確であるか、または活動内容が仏教寺院との協働によってより活発になり、広がる可能性に期待ができるか

### (助成金について)

- (1) 助成金は平成22年3月31日までに、申請書に記載され承認された用途に基づく経費に使用できます。
- (2) 助成金は、選考会の承認後、所定の手続きを経てお支払いします。また、平成22年6月末日までに、活動報告書及び助成金の使用報告書を提出していただきます。
- (3) 助成金は、虚偽の申請・報告、または実施後の報告がないなどの場合には返還を求めることがあります。

### (募集期間)

平成21年6月15日(月)～8月7日(金)

### (応募方法)

- (1) 所定の応募申込書に必要事項を記入の上、運営事務局あてに特定記録郵便で郵送してください。FAX、E-mail及び持参による提出はできません。
  - (2) 応募申込書に、以下の書類を添付してください。
    - ① 定款、規約、会則など団体の組織運営が分かるもの
    - ② 役員名簿またはそれに準ずるもの
    - ③ 直近の事業報告書と決算書類(設立初年度の団体は事業計画書と予算書)
    - ④ 活動内容が具体的に分かる資料(チラシ、リーフレット、写真、新聞記事、アンケート結果等)
    - ⑤ 主な表彰受賞歴と助成実績(A4サイズ1枚にまとめたもの。ない場合省略可)
  - (3) 応募申込書は、ホームページからダウンロードいただくか、運営事務局までご請求ください。
- ※ 提出していただいた応募書類は返却いたしません。
- ※ 応募に関する質問は、随時受け付けます。受け付けた質問と回答は原則ホー

ムページで公開します。

(選考スケジュール)

6月15日(月)	募集開始～応募説明会随時開催
8月7日(金)	応募申込締切 最終日午後5時までに運営事務局必着
8月中旬	助成審査会 受理した応募書類について、応募要件や書類の不備などを確認、必要に応じて聞取調査、追加書類提出依頼
8月末～9月下旬	選考会
10月	採択式典・採択記念パーティ(レセプション)

※ 採択式典については、助成採択団体の中から1団体のみ代表してご出席いただけます。(後日、事務局から連絡の上調整させていただきます。)

## 【アイデア・企画部門(新設)】

地域文化活動を進める上で、仏教寺院\*と一緒に実施したいアイデア・企画を募集します。「共生」の地域づくりにつながるものであれば、内容は問いません。「お寺でコンサートを開きたい」、「僧侶と一緒に教育講座を実施したい」などの提案を、「共生」の地域づくりにつながる事が分かるよう、具体的にお寄せください。特に優秀なアイデア・企画については、実現に向けた支援を行います。提案のみでも結構です。

\* 仏教寺院とは、全日本仏教会加盟宗派〈教団〉に所属している寺院、または全日本仏教会加盟の都道府県仏教会〈連盟・連合会〉に加入している寺院とします。

### ・一般の部

<small>ともいき</small> 共生アイデア大賞	……	1件	賞金10万円
<small>ともいき</small> 共生優秀アイデア賞	……	2件	賞金5万円
<small>ともいき</small> 共生アイデア賞	……	20件	賞金2万円

### ・中学生以下の部

<small>ともいき</small> 共生のタマゴ大賞	……	1件	1万円分の図書カードと記念品
<small>ともいき</small> 共生のタマゴ賞	……	30件	5千円分の図書カード

### (応募対象団体)

アイデア・企画をお持ちの方なら個人・団体問わずどなたでもご応募いただけます。ただし、中学生以下の方は一般部門にはご応募いただけません。

### (賞金・図書カードについて)

賞金・図書カードは、選考結果を連絡の上、所定の手続きを経て贈呈いたします。

### (募集期間)

平成21年6月15日(月)～9月11日(金)

### (応募方法)

#### ・一般の部

- (1) 所定の応募申込書に、①アイデア・企画、②氏名、③性別、④年齢、⑤住所、⑥電話番号、⑦(お持ちであれば)メールアドレスを記載の上、運営事務局あてお送りください。
- (2) 応募申込書は、ホームページからダウンロードいただくか、運営事務局まで

ご請求ください。

・ **中学生以下の部**

郵便ハガキまたは所定の応募申込書に、①アイデア・企画、②氏名、③性別、④年齢、⑤住所、⑥電話番号、⑦(お持ちであれば)メールアドレスを記載の上、運営事務局あてお送りください。

※ 学校等でまとめて応募される場合は、⑤住所、⑥電話番号、⑦メールアドレスの記載は不要です。別途ご担当者様の連絡先をお知らせください。

※ 提出していただいた書類は返却いたしません。

※ 応募に関する質問は、随時受け付けます。受け付けた質問と回答は原則ホームページで公開します。

(選考スケジュール)

6月15日(月)	募集開始～応募説明会随時開催
9月11日(金)	応募申込締切
9月末	選考
10月	採択式典・採択記念パーティ(レセプション)

※ 採択式典については、共生アイデア大賞受賞者の方のみ代表してご出席いただけます。(後日、事務局で連絡の上調整させていただきます。)

**応募・お問い合わせ先**

ともいき

共生・地域文化大賞運営事務局 (担当:藤野・池野)

〒600-8104 京都市下京区五条通高倉西入万寿寺町143 いづつビル6階  
特定非営利活動法人きょうとNPOセンター内

TEL (075) 353-6292 (月～金曜日 10:00～19:00)

FAX (075) 353-7689

E-mail info@tomoiki.jp

URL http://tomoiki.jp

※ 個人情報の取り扱いについて

ご応募いただいた申込書に記載の住所・氏名・電話番号、および電子メールアドレスなど、個人を識別できる情報については、運営事務局において適切に管理するとともに、共生・地域文化大賞の運営及び浄土宗内での研究以外の用途には使用しません。

浄土宗宗祖法然上人 800 年大遠忌記念事業  
平成 21 年度（第 3 回）「共生・地域文化大賞」  
ともいき

【運営委員】

- 秋田 光彦（大阪教区大江組大蓮寺住職）  
今田 忠（前日本 NPO 学会会長）  
熊谷 靖彦（佐賀教区西部組本応寺住職・  
宗祖法然上人 800 年大遠忌中央実行委員会委員）  
武田 康晴（華頂短期大学准教授）  
貴田 善澄（総本山知恩院執事長公室長）  
廣瀬 卓爾（佛教大学社会学部現代社会学科教授）  
吉水 光慈（浄土宗財務局長）

【選考委員】

- 斉藤 弥生（大阪大学大学院人間科学科准教授）  
高橋 陽子（日本フィランソロピー協会理事長）  
長谷川匡俊（学校法人大乗淑徳学園理事長・淑徳大学学長）  
早瀬 昇（大阪ボランティア協会理事・事務局長）  
堀田 力（さわやか福祉財団理事長）  
水谷 幸正（学校法人佛教教育学園理事長）  
里見 法雄（浄土宗宗務総長）  
柴村 堯海（浄土宗文化局長）